

2023年3月期通期 決算説明会資料

セレンディップ・ホールディングス株式会社 | 証券コード:7318



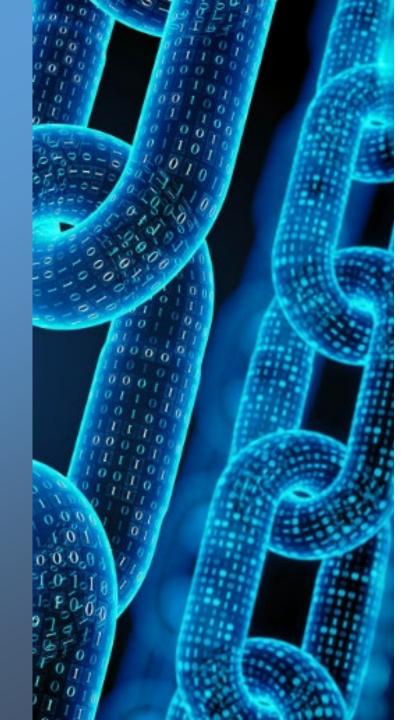


Table of Contents

第1部

- 1.会社及び事業概要
- 2.通期業績
- 3.業績予想
- 4.セグメント別業績見通し

第2部

1.天竜精機による「アンテナー体型高周波伝送路の開発」について

第3部

- 1.Q&A
- 2.今後のIR活動のお知らせ



会社及び事業概要 Company and Business overview

we can create a better world



Our Mission 1 0 0 年企業の創造

日本の中堅・中小製造業に経営革新をもたらし、中小企業の未来を創る

私たちセレンディップ・グループは、モノづくり企業に特化した事業投資会社として、「経営の近代化」と「地方創生」を積極的に推進します

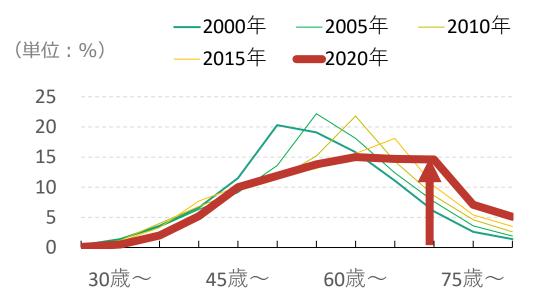
市場機会:経営者の高齢化と第三者事業承継への圧倒的需要

- 中小企業における経営者の高齢化
- ▶ 第三者への事業承継ニーズに対して圧倒的に追いつかない国内M&A実績

国内企業で最も多い経営者の年齢は66歳*1

*1:(株)帝国データバンク「COSMOS2(企業概要ファイル)」再編加工

中小企業の経営者年齢の分布*2



*2. 出典:中小企業庁「2022年版中小企業白書」

第三者事業承継へのニーズは M&A実績の50倍

約60万者*3

2025年までに70歳以上となる 後継者未定で黒字の中小企業のうち 第三者承継の可能性がある者

*3:中小企業庁「第三者承継支援パッケージ(2019年)」



過去3年間の国内M&A件数

*4:レコフデータ

事業セグメント別 セレンディップ・グループ企業一覧

セレンディップ・ホールディングス (連結) 売上高*1 151.9億円 従業員数*1 596名

インベストメント 売上高*1 1.1億円 従業員数*1 6名*2



モノづくり 売上高*1 142.3億円 従業員数*1 465名



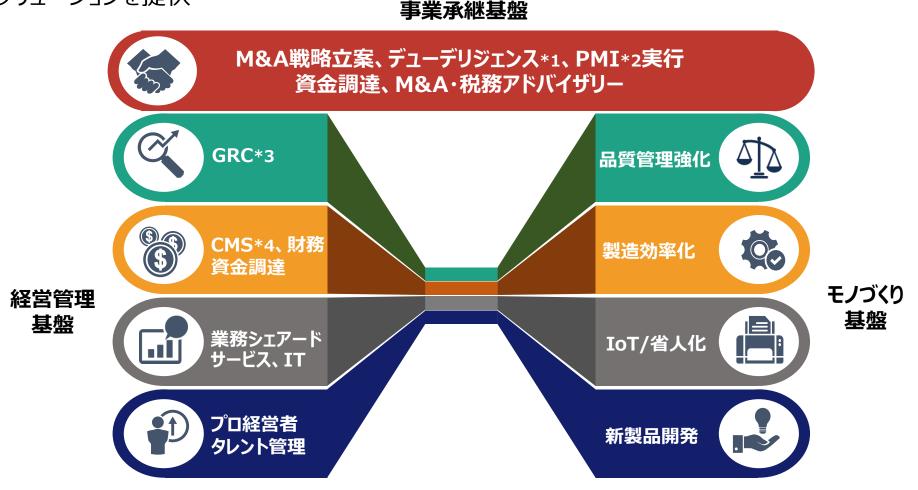
プロフェッショナル・ソリューション 売上高*1 12.7億円 従業員数*1 125名



*1 2023年3月末時点 *2 セレンディップ・ホールディングスより出向

ワンストップのモノづくり事業承継プラットフォーム

当社の「モノづくり事業承継プラットフォーム」はワンストップで事業承継に必要なすべての ソリューションを提供



- *1 デューデリジェンス 企業の財務情報の正確性や法的なリスクを確認することを目的とした調査
- *2 PMI (Post Merger Integration) 当初計画したM&A後の統合効果を最大化するための統合プロセス
- *3 GRC ガバナンス・リスクマネジメント・コンプライアンス *4 CMS (キャッシュ・マネジメント・システム)

通期実績 Financial Results

we can create a better world

2023年3月期通期連結業績サマリ

- ▶ 半導体の供給不足やサプライチェーンの混乱により、自動車メーカー国内生産は第3四半期まで生産計画見直しの影響を受けたものの、期末にかけて大きく挽回
- ▶ 製造現場を中心とした生産性向上の取り組みにより、前期比大幅増益で着地

売上高

15,195百万円

前年比+10.1%

営業利益

325百万円

前年比+66.8%

経常利益

347百万円

前年比+93.6%

親会社株主に帰属する当期

312百万円

前年比+56.3%

2023年3月期 通期連結業績サマリ(セグメント別)

売上高

セグメント利益

モノづくり事業

14,230百万円

一 対前年+1,246百万円

_ 前年比+9.6%

389百万円

· 対前年+178百万円

前年比 +84.4%

プロフェッショナル・ソリューション事業

1,274百万円

— 対前年**+93**百万円

前年比+7.9%

(注) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

△53百万円

一 対前年△62百万円

前年比-%

インベストメント 事業

113百万円

- 対前年**+44**百万円

前年比+65.2%

(注) セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

△10百万円

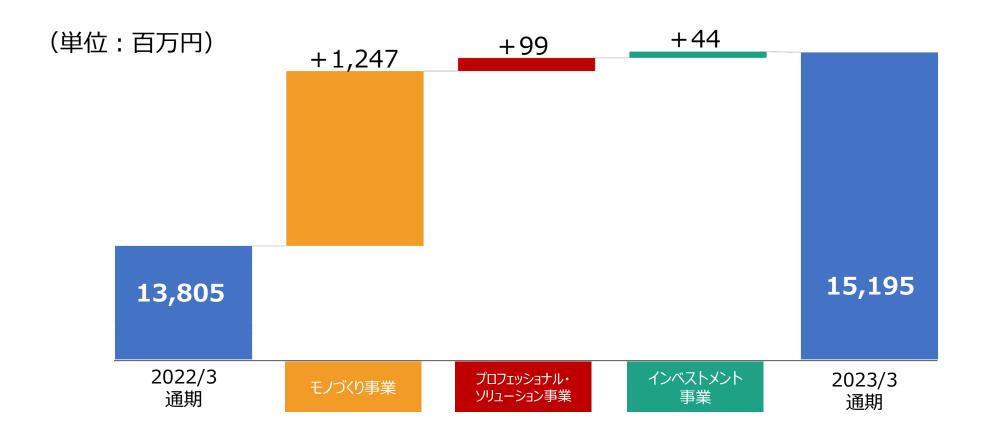
対前年+14百万円
前年比━%

2023年3月期 通期連結売上高増減分析

モノづくり:自動車メーカーの国内生産が期末にかけて大きく挽回し、大幅増収

プロフェッショナル: 当社コンサルティングサービスへの強いニーズに対し、営業を積極化し増収

インベストメント:フィナンシャル・アドバイザリー案件の増加及びファンド運営関連報酬により増収

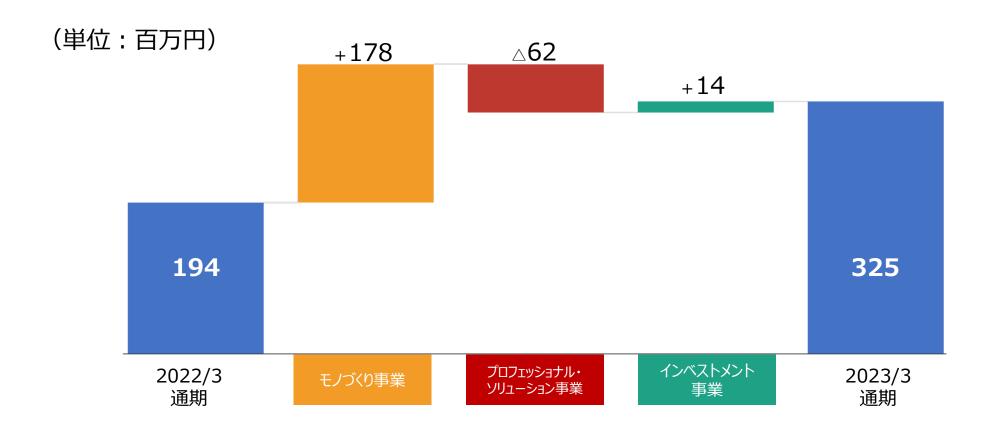


2023年3月期 通期連結営業利益増減分析

モノづくり:増収及び製造スタッフの多能工化による固定費削減により大幅増益

プロフェッショナル:コンサルタント採用費やM&A関連費用により減益

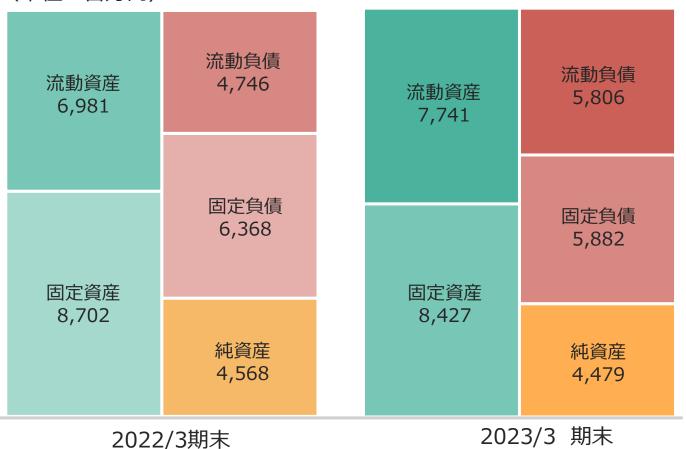
インベストメント:事業強化のための営業増員で人件費が増加するも、増収により増益



連結貸借対照表サマリ

投資有価証券の売却及び時価評価減により、純資産は減少したものの、LBOローンの見 直しにより長期借入金(負債)が約5億円減少したことで、自己資本比率は維持

(単位:百万円)



自己資本比率

27.7%

前期末比△0.8%

2023/3 期末

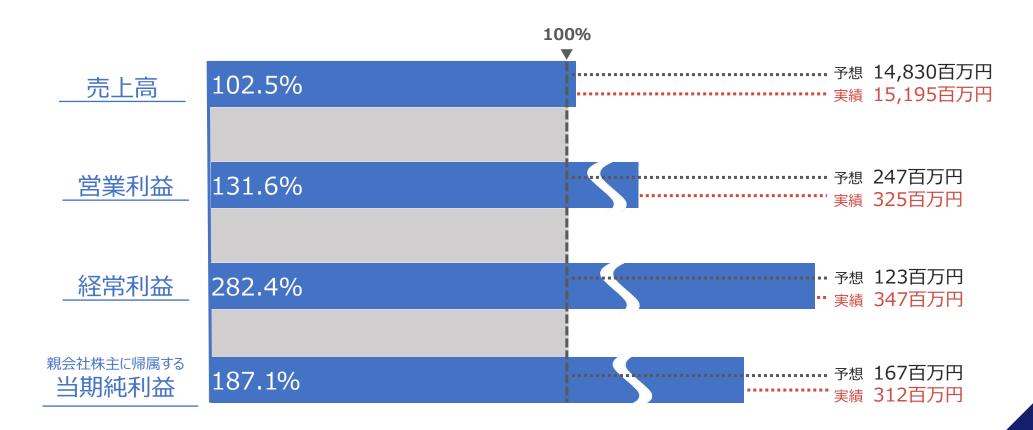
通期連結業績予想に対する進捗率

売 上 高 : 概ね計画通りに着地

営業利益:製造現場の多能工化による固定費削減に加え、自動車メーカーの国内生産が回復

したことにより大幅増益

経常利益:取引先との間で販売価格の修正に合意したことにより大幅増益



業績予想 Earnings Forecast

we can create a better world

2024年3月期業績予想

売上高:自動車メーカーの国内生産回復、コンサルティングやフィナンシャル・アドバイザリー

への旺盛な需要を受け、全セグメントにおいて増収

営業利益:売上高増加を受けて増益

当期純利益:前期の保険金受取等計上による特殊要因を除くと、実質増益

売上高

16,800百万円

前期比+10.6%

営業利益

447百万円

前期比+37.5%

経常利益

370百万円

前期比+6.5%

親会社株主に帰属する当期

230百万円

前期比△26.4%

セグメント全体像

① モノづくり事業

- 天竜精機(FA装置製造)
- 佐藤工業(自動車精密部品製造)
- 三井屋工業(自動車内外装部品製造)
- アペックス(開発段階における試作品製作)

② プロフェッショナル・ソリューション事業

- セレンディップ・ホールディングス(プロ経営者派遣、経営コンサルティング)
- セレンディップ・テクノロジーズ(設計・開発・ITエンジニア派遣、ソフトウェア開発)

③ インベストメント事業

セレンディップ・フィナンシャルサービス(ファンド、共同投資、フィナンシャル・アドバイザリー)

セグメント別業績見通し

モノづくり事業

- 1. 自動車部品製造は、受注残解消に向け、自動車メーカーの積極的な国内生産が継続し好調
- 2. FA製造装置は、安定的な設備投資需要を受け、新規案件を積み上げて増収
- 3. アペックス (試作品製作) が通期貢献

プロフェッショナル・ソリューション事業

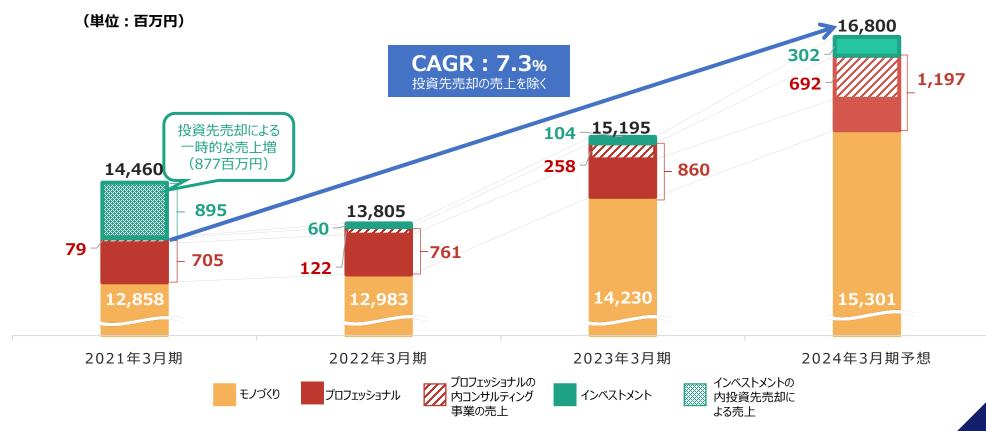
- 1. 経営、製造現場、ITに関する各コンサルティングサービスの受注が順調に推移
- 2. ロボットトランスフォーメーション(RX)やERP導入コンサルティングサービスなど、前期立ち上げた 新規ビジネスが実績化
- 3. クロスセルにより案件単価向上を推進

インベストメント事業

- 1. インベストメント担当役員を新たに選任し、体制を強化
- 2. フィナンシャル・アドバイザリー案件及びフロー型投資案件のパイプライン強化のため、プッシュ型の営業に注力するとともに営業要員の増員を計画
- 3. SBI新生銀行グループとの共同ファンド第1号案件に向け活動中

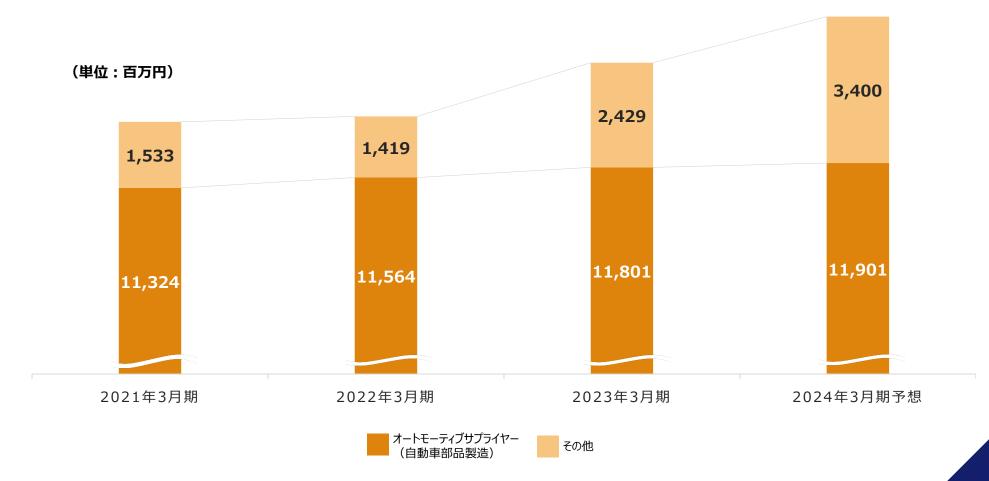
過去3年の連結売上高の推移及び2024年3月期予想

- ➤ モノづくりセグメントは、自動車メーカーの国内生産回復により堅調に推移
- ▶ コンサルティング事業の新規事業複数立ち上げにより、プロフェッショナル・ソリューションセグメントは大幅増収(うち、コンサルティング事業は前期比2.7倍)
- |▶ フィナンシャル・アドバイザリーの活発化により、インベストメント・セグメントは大幅増収(前期 比2.9倍)



モノづくり事業の売上高の推移及び2024年3月期予想

- ▶ オートモーティブサプライヤーは、国内生産の回復によって堅調に推移
- ▶ 天竜精機(その他)は、半導体市況に一部不透明感が出ているものの好調を維持
- ▶ アペックス(その他)が通期貢献



天竜精機による 「アンテナー体型高周波伝送路の開発」について

we can create a better world

「アンテナー体型高周波伝送路」について

2023年3月27日 ニュースリリース



- ➤ 天竜精機(長野県駒ヶ根市)が5G対応ITデバイスに最適な伝送路を開発
- ▶ 本製品は、独自技術によりフッ素フィルムを用いることに成功。伝送ロスを軽減

Beyond 5 G 時代 ITデバイス上の課題

高周波帯では電波の損失(伝送ロス)が大きくなるため、 伝送効率の向上が課題

高周波用の基板材料としての フッ素フィルムの課題 高周波用の基板の材料としてフッ素フィルムが最適とされているが、 加工性が悪く、取り扱いが困難





- 特許取得済み工法並びに構造体を応用した独自技術により、フッ素フィルムを用いた伝送路を開発
- 送受信アンテナと一体化することで、伝送路とアンテナの接続 部分の伝送ロスを下げることに成功

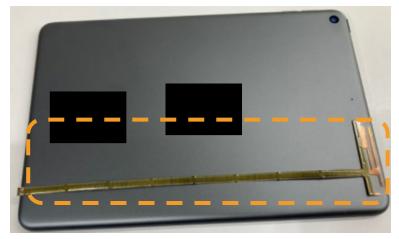
「アンテナー体型高周波伝送路」の特徴と実用化の進捗

▶ 本製品は、材料接合に接着剤を使用しない工法のため、非常に薄く、軽量であるため、 デバイスの背面など場所を問わずに搭載可能

本製品

の特徴 と利用 使途

▼実際のアンテナー体型高周波伝送路



伝送ロスが少なく、薄型・軽量である 「アンテナー体型高周波伝送路」



直径 0.64mmの円筒状の「同軸ケーブル」の リプレイスが可能



【PC・スマートフォンでの利用】

通信チップとアンテナ間の伝送路、アンテナ本体

【自動車での利用】

ミリ波レーダーのレーダーチップとアンテナ間の伝送路、アンテナ本体

実用化の進捗状況

・PCやタブレットでの採用に向けて、アンテナ基板メーカーをマーケティング中 ⇒2025年3月期中に、PCやタブレットの新モデルでの採用を目指す ▼同軸ケーブルイメージ

質疑応答に関して

1. 「Q&A」欄にご質問を投稿してください。



2. 時間の都合上、すべてのご質問に回答できかねる場合がございます。 お答えできなかったご質問については、後日書面にて開示いたします。

今後の予定 | 1/2

▶ 第18回定時株主総会をハイブリット型で開催。ライブでオンライン視聴が可能

予定	日時	開催方法	申込先
第18回定時株主総会	2023年6月27日(火) 9時30分~	現地 オンライン	https://us06web.zoo m.us/webinar/regist er/WN VNpg7pl- TgK2xM3RBW4jEw

※第18回定時株主総会の参加における注意事項

- 1. 電子提供措置は、6月2日以降を予定しています。
- 2. 本株主総会は、Zoom Video Webinarを利用したライブ配信を実施し、どなたでもオンラインで視聴していただけます。ただし、オンライン 参加の場合、本総会当日に議決権行使及びご発言を行うことはできませんので、オンライン参加をご希望の株主様におかれましては、書面により、事前に議決権行使をお願いいたします。

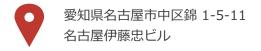
今後の予定 | 2/2

➤ 個人投資家向けIRセミナーに、代表取締役社長の竹内が登壇予定

予定	日時	開催方法	申込先
Kabu Berry Lab (名古屋)	2023年5月27日(土) 13時15分~	現地、オンライン	https://kabuberry. com/lab94/
神戸投資勉強会	2023年6月17日(土) 13時25分~	現地	満員御礼 https://twipla.jp/e vents/553054



Contact Us







disclaimer

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。